

(4) 学校教育学部

① 入学者選抜

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

委員会を16回開催した。また、学部入学者選抜に関して6つの専門部会を合計14回開催した。

ii) 審議された主な事項

学部入学者選抜方法の概要の策定、推薦入試・一般入試等の実施計画の策定・実施、学生募集要項等の作成、合否判定基準・合否案の作成、大学入試センター試験の実施等に関する事項について審議した。

また、入学者選抜方法研究専門部会において、入学者選抜に関する追跡調査及び入学者選抜方法の改善に関して調査研究した結果を、「平成27年度入学試験委員会入学者選抜方法研究専門部会報告書」として取りまとめ、学内に公表した。

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

・ 大学入試センター試験実施に向けた取組

試験実施上のミスやトラブルは、再試験など受験者に多大な影響を与えることから、大学入試センターとの連携・協力を密にし、円滑な実施に向けた取組を行った。

具体的には、平成28年度大学入試センター試験では試験（解答）開始及び試験（解答）終了時のチャイム等を使用しないこと等、監督業務等に関わる全ての教職員に対する説明会における周知徹底と欠席者に対する個別説明の実施及びリスニング試験における演習の実施並びに学内連絡体制や実施マニュアルの再点検、整備等を行った。

・ 東日本大震災等で被災した受験者への特別措置

東日本大震災により被災した受験者の進学機会を確保する観点から、前年度に引き続き、当該受験者の入学試験に係る検定料を全額免除とする特別措置を実施した。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

入学者選抜方法研究専門部会において、平成22年度から平成26年度までの卒業者を対象として、推薦入試、一般入試（前期日程・後期日程）の各入試による入学者間の学内成績の比較や教員採用試験の受験状況（教員採用試験の合否状況を含む。）と入試成績との関連を検討した結果を示した。推薦入試については平成20年度、後期日程については平成21年度からの入試方法を変更しており、変更後の入学者の進路状況について引き続きデータを蓄積し現行の入試方法の有効性を検証する必要がある。